

黑龍江省檔案館編

滿鐵調查報告(第一輯) 24

廣西師範大學出版社

昭和七年六月

臺灣阿片制度調查報告

臺灣經濟調查會

第五卷 第一號

阿片調查會

目次

一 臺灣阿片制度ノ沿革 一

二 現行阿片制度 二九

(1) 國際阿片協定ノ關係 二九

(2) 阿片行政官署 二九

(3) 現行法規 二九

(4) 阿片類輸出入 二〇

(5) 阿片加工工場 二〇

(6) 煙膏製造費用 二〇

(7) 包裝容器 二〇

(8) 煙膏買賣機關 二〇

(1) 地方官廳 二〇

(2) 元賣商人 二〇

(3) 小賣人 二〇

(9) 煙膏賣價格 二〇

烟膏ノ輸送及保管……………八一

(イ) 輸送……………八一

(ロ) 保管……………八三

(Ⅱ) 烟膏ノ消費……………八五

(イ) 特許……………八五

(ロ) 特許證札及特許料……………九三

(ハ) 吸食量及通帳……………九五

(Ⅲ) 在留支那人ニ對スル購買吸食特許……………九七

購辦者ノ矯正……………一〇五

(イ) 矯正處分……………一〇七

(ロ) 同 施設……………一〇八

(ハ) 同 方法……………一〇八

(ニ) 同 戒煙……………一一〇

阿片吸食所ノ吸食器具製造販賣ノ適用阿片及煙灰……………一一三

阿片取締……………一一六

(イ) 取締機關	一八
(ロ) 取締方法	一八
附飛電降筆會ノ廢煙運動	二二
三、麻藥取締	二五
(1) 阿片ト麻藥トノ關係	二五
(2) 取締方規	二六
臺灣セリヒネ、ニカイン及其ノ盜類取締規則	二八
臺灣麻藥類取締規則	三五
四、阿片財政	三五
(1) 阿片收入ノ臺灣財政ニ於ケル地位	三五
(2) 阿片收支	三四
(イ) 收入	三四
(ロ) 烟膏收入	三九
(ハ) 副産物收入	六〇
(ニ) 支出	六六

(a) 生阿片價格及仕入數量	七〇
(b) 殘 渣	七一
(c) 配合品	七一
(d) 收支比率	七五
(e) 收支總括計算—手持品	七五
(f) 固定資本	七一
五「ケシ」ノ栽培	八一

圖 表 類

阿片生產費集計表	五七—六三
煙膏製造高及原料阿片使用高表	六四
阿片營業者表	七五
煙膏定價卜阿片價格卜ノ關係圖表	七九
公署診斷線及行政調査様式	九一
吸菸特許者煙膏賣下數量卜本島人口圖表	〇三
阿片密吸食者統計	一一

阿片收入表	五〇
阿片支出表	六〇
原料阿片購入高表	七〇
臺灣總督府送入、衛生施設費卜阿片收入卜之關係圖表	七九
阿片收支關係圖表	八〇
「ケシ」試作成績同經費表	八七

一 臺灣阿片制度ノ沿革

阿片問題ノ處理ハ臺灣統治上最初ノ重大問題デアツテ土匪討伐ト並
ンテ日本當局者ノ最大關心事デアリ之ヲ解決ニハ歴レタル絶大ノ努力
カ拂ハレタセノデアル。今滿洲新國家樹立ニ於ケル日本人ノ役割ハ元
ヨリ領臺當時ト事情ヲ異ニスルカ滿洲ニ於ケル阿片吸食ハ領臺當時ノ
臺灣ニモ劣ラス之カ處理ノ如何ハ政治的、財政的社會政策的衛生的的
地ヨリ見タル國內的ノ重大問題ニ屬スルノミナラス阿片管理カ總府會
議以降完全ニ國際的監視下ニアル今日又一ノ國際問題デアスデアル。幸
ヒ臺灣ノ阿片制度ハ制定ニ運用ニソノ人トソノ計畫ノ宜ヲ待テ漸次ノ
方針ヲ三頁シ方ニ有テ美ヲ收メントシ總府會議一出席セル當時ノ各
費局長負來佐賀太郎氏ハ實々世界ニソノ制度運用ノ成果ヲ公示シテ各
國ノ賞賛ヲ博シ結果並ニ阿片處理ハ世界ノ模範トシテ定評ヲハニ至
ツ。

臺灣ト滿洲トヲ比較スルニ自然的社會的諸問題ニ於テ極大ニ異ナル
ヲ入直チニ臺灣ノ制度ハ輸入スルニ許サズカアハス臺灣ノ

制度ノ詳細ニ研究シ滿洲ノ自然的社會的状態ニ適應スル形式ニ消化シテ攝取スル事ハ滿洲阿片問題解決ニ於ケル鑒ニアル事ヲ知ラントシテハナラナイ。

明治二十八年領臺當時本島人一支那人一阿片吸食ノ風習ハ之ヲ禁止セントシタ支那官憲ノ努力ニモ拘ハラヌ全島ニ蔓延シ、日清講和談判中李鴻章ハ伊藤伯ニ對シ臺灣領有ノ不利トシテ不健康地ナル事阿片吸食ノ風甚クシタソノ取締困難ナル事ノ二點ヲ擧ゲテ力説シテ事情スラアル。

臺灣總督府開臺後ハ專ラ、賊徒討伐ニ盡テ阿片問題ノ充分ナル研究ニ暇ナク懸念ノ處置トシテ日本人カ吸食ノ風習ニ感歎スル事アリタルヲ明治二十八年七月公布サレタ臺灣人民犯罪處分符中ニ第一條「臺灣人民ニシテ左ニ記載シタル行爲アリテハ死刑ニ處ス」ノ第一項ニ「鴉片烟ヲ其吸食器ヲ大日本國軍人ニハ其他ノ使事者ニ交付シタルモノ又ハ吸食器ヲ給レタルモノ」ノ一項ヲ加ヘ、韓山總督ハ別に告示ヲ爲シ軍人軍艦ノ吸食器ヲ檢査ノ權限アリテ嚴懲レソノ風習ヲ以テ

ヲ邦家千載ノ大患ヲ未然ニ防ク可キヲ力説シタル。

更ニ同年十一月發布ノ臺灣住民刑罰令第二十四條ニモ「土民ニシテ阿片煙又ハ其吸食器具ヲ單人專屬其他渡來ノ帝國臣民ニ交付シタル者及其情ヲ知リテ房室ヲ給與シタル者ハ死刑ニ處ス」ト極力傳習ヲ防止シタルカナル嚴重ナル取締方法ト共ニ「(一)内地人ハ性急ニシテ暗室ニ悠々夢遊スルヲ得ス(二)阿片煙ニ一種ノ奇臭アリ(三)飲酒ト吸煙ト兩立セズ(四)煙膏ノ代價不廉ナリ(五)内地人ハ本島人ヲ卑ミ之ニ眞似ルヲ嫌フ、等ノ理由ニヨリ内地人ニシテ感覺ニ感染スルモノハ殆ト無カク」云々(乍然ニシテ先例ヲ以テ滿洲ニ於テ日本人カ阿片吸食ノ風ニ感染スル虞レナシト斷定スルハ大早計ヲアツテ斷然ニ於テハ上述ノ如キ嚴重ナル取締ヲ行ヒ懲キノミナラハ附屬地内ニテ日本刑法ノ阿片ニ關スルハテ選用スル慣行ナカラソノ正確の根據ニテ不確定ナル有様ヲ許スルハ不相當嚴重カ行ハレツツア一ハ後ニ示スル如クテ以テシテテ明カニ其處置ナル方策ヲ設スル事ハ目的的緊要ニシテアル)

一方總督府ノ阿片問題ニ先キ次第ニシテ本野民政局長ハ臺灣ノ阿片

ヲ撤シ大體左ノ六案ヲ得

一、明治三十八年五月八日ノ臺灣住民ニ就決定期ヲ以テ遊業施行

ニ向フ七年間ヲ期シ禁絶マントスルモノ

二、禁止的重税ニヨル禁絶

三、輸入斤量遞減ニヨル禁絶

四、定商人ニ專賣特許ヲ與ヘ政府ニ特許料ヲ納入セシメ漸禁ヲ期スル

モノ

六、阿片煙膏ヲ政府ノ專賣トシテ漸禁ヲ決行マントスルモノ

此等諸案ニ對シ總督府ハ討テ置キテ結果一及二ハ甚少ノ級別ハ到底蒙窮ノ効果ヲ奏ス可クマテ三及四ハ特ニ重大ナル實得力兵刀ヲ要スヘク事情之ヲ許ササルモノアツテ其ハ英領香港及新嘉坡ニ行ハルル方法ニ類似（現在ハ改變アリ）特許者ハ自ラ密輸入ノ禁止ヲナスヲ得ヘキモ漸禁ノ目的ヲ達スルニハ不足當アルヲ以テ結局六ヲ以テ遊業ヲトシテ漸禁ヲ實行スルニ對シテハ其ノ後決シテ

然ルニ其時内地ニ於ケル兵船ハ其禁絶期力一ノ内務省衛生局員

藤尚志氏ノ意見書ノ如キハ

一 阿片取締ニ關スル處置ハ最初ノ斷行最モ肝要ナル事

二 最初ヨリ阿片ノ輸入ヲ嚴禁スル事

三 人民所持ノ阿片烟ハ相當賠償ヲ與ヘテ之ヲ政府ニ納入セシメル事

四 藥用阿片ハ本州ト同シク政府ノ專賣トスル事

五 四箇條ヲ舉ケ主トシテ内地人ニ吸食ノ風習感染防止ノ立場ヨリ嚴禁

主義ヲ強調シ、漸禁案ヲ抱イテ明治二十八年十一月上京セル水野民政

局長ハ臺灣事務局ノ會議席上反對ヲ受ケ更ニ政府委員トシテ議會ニ臨

ムテ國家百年ノ害毒ヲ始スモノトシテ痛烈ナル攻撃ニ遭ヒ漸禁案ハ行

惱ミノ態トナツタ。思フニ當時内地人ノ大部分ハ殆ト阿片ノ何物タル

カラ解ヤス一部有識者モ僅カエソノ猛害アルヲ知ツテ吸食習慣ノ實相

ヲ知ラス遮ニ無ニ嚴禁ノ一途ニ出テ所謂觸ラヌ神ニ崇リナシノ態度ニ

出テルニ至ツタモノデアラウ。

此時ニ當ツテ當時内務省衛生局長後藤新平氏ノ呈出セル意見書ハ事
實制度ニヨル漸禁主義ヲ提唱セラルモノテ相前後シテ呈出サレテ漸禁

鹽石黒忠恵ノ漸禁説ト共ニ紛々タル衆議ヲ一定シ遂ニ臺灣事務局委員
會ヲシテ漸禁主義ニ贊成セシムルニ至リ樺山臺灣總督ハ阿片制度施行
方法ニ就キ後藤新平氏ノ意見ヲ數スル事トナツタ。内務大臣芳川顯正
臺灣事務局副總裁川上操六ノ兩氏ノ手ヲ經テ樺山總督ニ送付サレタ後
藤氏ノ意見ハ左ノ如クデアル。

後 藤 新 平

臺灣阿片制度ニ關シ曾テ提出シタル郵見ノ第二說即チ阿片ヲ以テ政府ノ專賣トシ阿片喫烟ヲ嚴禁シ老癮者ニ限リ藥用トシテ阿片吸烟ヲ許可スルノ制ヲ採納セラレタルニ付其施行方法ニ關シ更ニ郵見ヲ開始ス可キ旨臺灣事務局總裁伊藤儀督ヨリ芳川內務大臣へ御移牒ノ旨ニ依リ阿片制度施行方法ノ要領ヲ陳スル事左ノ如シ。

阿片制度ノ宜ヲ得ルト否トハ臺灣行政ノ全體ニ影響ス可キ重大ナル問題ニシテ若シ一朝其措置ヲ失スル事ヲランカ水ヲ全島ヲシテ王化ニ浴セシムル事能ハサルハ勿論、未タ新領土征服ノ效ヲ收ムル能ハサルニ事已ニ千載拔ク可カラサル惡習ヲ本國ニ流傳スルノ害ヲ來サン。抑モ郵見ノ第一說へ般令ヲ布キ兵力ヲ以テ之ニ臨ミ惡習ノ民令ヲ奪セサルモノハ之ヲ殲シテ遺骸ナキニ至ラシムルヲ期スルノミ而シテ之ニ要スル兵員ハ少クモ二個師團以上ヲ要シ數年ニ涉リ或ハ其兵員ノ半數以上ヲ減スルニ至ルヘシ。之ニ反シテ郵見ノ第二說ハ兵力ニ代フルニ行政警察ノ力ヲ以

チレ此第二説ヲ實行シテ阿片嚴禁ノ成績ヲ舉ケント欲セハ其事ノ至難ナ
 ルコトヲ明察シ堅忍不拔ノ人ニ任シ功ヲ數十年ノ後ニ期シ始メテ之ニ著
 手スルコトヲ得ヘシ。一員ノ苟安ヲ偷ミ現時ノ收入額ニ眩惑セラレ其説
 ノ新領民ニ對スル政策トシテ喜ンテ聽ク可キモノノ如キカ故ニ執行上容
 易ナル可キコトヲ逸了シ輕舉其事ヲ企圖セントスルカ如キ輩ノ手ニ委シ
 テ其政策ヲ誤マラン事ハ余ノ最モ懼ル所ナリ今ヤ余カ阿片喫烟嚴禁策
 ノ第二説ハ臺灣事務局ノ議ヲ經テ賢明ナル總裁閣下及總督閣下ノ採納ヲ
 得タルヲ以テ乃チ喜ンテ施行上ノ鄙見ヲ呈セントス。之ヲ要スルニ鄙見
 ノ第二説タル阿片制度ノ施行ハ所謂舊フニ易ク行フニ難ク聞ニ快クシテ
 施スニ苦シム可キモノ其至困至難ノ狀ハ豫メ察知ス可ク而シテ其至難ナ
 ルヲ豫言シテ後之ヲ斷行スルニ宜シキヲ得ルモノ獨リ之ヲ能クス可キノ
 ミ況ンヤ吾語通セス人情同シカラサルノ民上ニ對スルニ於テアヤ而シテ
 今此制度ヲ施行スルニ當リ必要ナルハ第一阿片制度施行ニ概要ナル行政
 機關第二阿片行政警察施行方法ニ關スル要件、第三阿片財政ナリトス。

第一 阿片行政ノ機關

阿片行政ノ機關ノ主ナルモノハ阿片事務局ニシテ阿片事務官、巡視官、醫師ヲ以テ組織シ附スルニ製藥所ヲ以テセサル可カラズ聞ク製藥所ノ事已ニ定マルト故ニ茲ニ之ヲ略ス阿片事務局ノ目的ハ阿片喫烟ヲ嚴禁シ只老弱者ニ限り醫藥用トシテ之ヲ特許シ新ニ醫癮ニ就クヲ豫防シ凡ソ五十年ノ後ニハ全ク其跡ヲ絶タシムルヲ以テソノ責任トシ併セテ本國ニ此惡習ノ傳播スルコトヲ防遏スルニ在リ。

阿片事務局ハ臺灣ニ於テハ重要ナル行政機關ノ一ナレハ獨立部局トナスヲ當然ナリトシ其當局者ノ人選亦最も中心ヲ用ヒサル可カラズ然ニ此ニ一側ノ問題アリ即チ此阿片事務局ハ獨立部局トナス可キカ將ト他ノ衛生事務ト合シテ衛生部ナル獨立部局ノ下ニ屬セシム可キカハ大ニ考究ヲ要ス可キ一課トス。阿片事務局ヲ獨立部局トナス可キ所以ハ此事業ノ臺灣行政中重要事項タルカ故ナルノミナラズ實ニ其成功ノ如何ハ本國ノ威儀ニ關シ且全島征服ノ效果ヲ舉タルノ機會モ亦之ニ伴フヲ以テ此重大ナル責任ヲ負擔セシメンカ爲ニ臺灣總督府ノ他ノ各部ト對峙セシメ若クハ、特設ノ一局トシテ各部ノ上ニ位セシム可キ價值ヲ有スル一大要件トシハ

ナリ加之之ヲ視ルコト重要ナラサルニ於テハ此阿片喫烟嚴禁策ノ成功ヲ見ルコト能ハサランコトヲ悉ルル所アレハナリ然レトモ阿片行政警察施行ノ爲メ要ス所ノ數多ノ醫師及官吏ハ一般行政事務ト相俟テ密接離ル可カラサル關係ヲ有スルヲ以テ之ヲ合同シテ一ノ衛生部トナスハ財政上ノ便益少ナカラサル可キカ故ニ衛生部ヲ特設シテ阿片事務ト一般衛生事務トヲ取扱ハシムルノ機願ト爲スヲ以テ目下適當ノ方法ナリト信ス而シテソノ組織ハ大略左ノ如クナル可キカ

部 長

一人

當分民政局長官ノ兼務トス

衛生事務官

二人

内一人會計主務官

衛生醫官

一人

以上高等官

書記

七人

阿片巡視官

二十人

將來増員ヲ要ス可シ

以上判任官